

第 52 回東北ジュニア選手権水泳競技大会

< 2 次要項 >

監督会議は行いません。必ず事前に熟読し、選手・関係者へ確実に伝達してください。

I 競技について

- (1) 本競技会は、2026 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は予選・決勝ともに 10 レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 50m～200m の個人種目の予選競技は年齢別の参加人数にかかわらず ALL クラスで実施する。決勝競技はクラス別に実施する。ただし、少人数の場合は合同レースを実施する場合もある。
- (4) 決勝進出において、同記録で予定人数を超えた場合、抽選で優先順位を決定する。
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は 2 名（チーム）とする。
- (6) 抽選を行う場合は館内放送を行う。選手もしくは監督・コーチは招集所に集合すること。放送後 15 分以内に集合しなかった場合は、抽選の権利を放棄したものとみなす。
- (7) **決勝競技においては、第 1・2 補欠も招集所で点呼を受けること。**
- (8) 400m 以上の個人種目とリレー種目はタイム決勝で実施する。
- (9) 予選を棄権する場合は、所定の棄権用紙に記入し、当日予選競技開始 20 分前までに招集所に届け出ること。決勝（タイム決勝を除く）を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に棄権用紙に記入し、棄権料個人種目 3,000 円を添えて招集所に届けること。また、無断で棄権した場合は予選・決勝を問わず棄権料の他にさらに制裁金個人種目 3,000 円・リレー種目 5,000 円を支払うこと。
- (10) 招集は競技開始 10 分前から行う。招集所で水着等の確認を行う。
- (11) 背泳ぎのスタート前は、必ず足から入水すること。
- (12) 背泳ぎのスタートの際にバックストロークレッジを使用することができる。使用しない場合は、折返監察員に申し出ること。レッジの位置調整は各自で行うこと。
- (13) ゴールタッチ及び折返しは、タッチ版の有効面に確実にタッチすること。
- (14) 400m・800m・1500m 自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを使用し、コールは行わない。
- (15) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。
- (16) リレーオーダーは以下の時間までに招集所に提出すること。一度提出されたリレーオーダーは変更できない。（競技規則第 10 条 14）

5 月 9 日（土） 14:20	5 月 10 日（日） 13:20
------------------	-------------------
- (17) 選手紹介は、予選は各レーンでレース中に紹介、決勝は各レーンで紹介する。
- (18) 途中時間、新記録、失格者の通告をする。競技結果の通告はせず、電光掲示板に表示する。
- (19) 着水用のバケツは準備しない。着水は、自レーンの前の組の選手がゴールしたら、自レーンでの着水を認める。リレー種目の第 2～4 泳者はレース開始前に着水を済ませること。
- (20) WA/FINA マークが剥がれている場合は、マーク剥離確認票を招集所に提出すること。
- (21) テーピングは許可願いを記入の上招集所に提出し、事前に審判長の許可を得ること。
- (22) 抗議はその競技終了後 30 分以内に預り金として 50,000 円を添えて抗議書を招集所に提出すること。
- (23) 抗議書による抗議があった場合、審判長が抗議内容を検討する。抗議を受理した場合は、失格は取り消される。抗議を棄却する場合は審判長がその内容を説明する。
- (24) 審判長の説明に納得した場合、抗議は終了し、預り金は本連盟に徴収される。
- (25) 審判長の説明によっても疑義が解消しない場合、チーム監督者（引率責任者）は上訴することができ

る。上訴する場合は抗議書に必要事項を記入の上、招集所に再提出する。

- (26) 上訴された抗議は、大会総務が裁定する。裁定結果はチーム責任者（引率責任者）に対して説明される。抗議が受理された場合、失格は取り消され、預り金は返金される。棄却された場合、預り金は本連盟に徴収される。

2 全体スケジュール

期日	開門	公式練習	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
5月8日(金)	12:30	公式練習 (13:00~18:00)					18:30
5月9日(土)	7:00	7:15-8:50	9:20	12:48	13:20	19:46	20:30
5月10日(日)	7:00	7:15-8:50	9:00	12:16	13:00	17:46	18:30

(1) 開会式

- (ア) 時 間 5月9日(土) 9:00~
(イ) 場 所 マエダアリーナ 50m プール
選手は控え場所観覧席に着席すること

(2) 閉会式

- (ア) 時 間 5月10日(日) 18:00~(予定)
(イ) 場 所 マエダアリーナ 50m プール
選手は控え場所観覧席に着席すること

- (ウ) 表 彰 各クラスの優秀選手の表彰を行う

<優秀選手選考基準>

- ・10歳以下グループは10歳の資格級に準ずる。
- ・11~12歳グループは12歳の資格級に準ずる。
- ・13~14歳グループは14歳の資格級に準ずる。
- ・15~18歳と共通グループは17~18歳の資格級に準ずる。

※同級の場合、2種目目・3種目目・年齢の高い者とする。

※閉会式まで残れない選手は必ず招集所または受付に申し出ること。

3 プールの使用について

(1) メインプール

- (ア) 水深は2.2m、水温は28.0℃に設定する。
(イ) 0・9レーンはダッシュレーン、1レーンはペースレーンとする。
(ウ) 9レーンのスタートはスタート側から、0レーンのスタートは折り返し側からの一方通行とする。
(エ) 男女別のレーン分けをする。男子0レーンから5レーン、女子6レーンから9レーンとする。
(オ) メインプールでのパドル・コード類、**フィン**の使用は禁止する。
(カ) 公式スタート練習は、8:10から8:40の間に全レーンで一斉に行う。男女によるレーンの区別はしない。50mを泳ぎ切ること。

(2) サブプール

- (ア) 水深は1.20~1.25m、水温は29.0℃に設定する。水深が浅いので飛び込みは禁止する。
(イ) ダッシュレーン、ペースレーンは設けない。
(ウ) パドル・コード類の持ち込みを禁止する。

4 表彰について

- (ア) 8位までに入賞した選手(チーム)に賞状を授与する。ただし、表彰は行わない。
- (イ) 賞状は各種目の決勝競技終了から30分以降に賞状引換所(受付)で受け取ること。

5 会場(プール・サブアリーナ)の使用について

- (1) 選手、監督(引率責任者)はマエダアリーナ正面入り口から入館すること。
- (2) 選手、監督(引率責任者)の控え場所は、マエダアリーナサブアリーナとする。
- (3) サブアリーナ内は土足禁止のため、サブアリーナ入口で必ず内履きに履き替えること。**外履きは必ず袋に入れ**、各自で管理すること。
- (4) サブアリーナは各県ごとに区割りをする。チームで譲り合って使用すること。
- (5) サブアリーナは**必ず各チームで準備した敷物を敷いて利用**すること。
- (6) サブアリーナで飲食をする際には、床に飲食物をこぼさないように注意すること。万が一こぼした際は、**各チームで準備した雑巾等で丁寧に拭きとる**こと。
- (7) サブアリーナからプールへ移動する際は、**内履きを履いて移動**すること。
- (8) 選手応援席として、メインプール2階観覧席を各県ごとに区割りをする。各チームで譲り合って利用すること。
- (9) 2階観覧席での飲食は可能であるが、食べこぼした場合は責任を持って拭き取ること。
- (10) 更衣は、指定された更衣室を使用すること。但し、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (11) 更衣室での撮影行為を禁止する。
- (12) 競技中は会場図の選手動線に従うこと。
- (13) サブプールは、水中練習と荷物置き場の使用のみとし、待機および食事場所とすることはできない。
- (14) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることはできない。
- (15) 盗難、置き引きには十分注意を払い、貴重品は各自・各チームで責任をもって管理すること。
- (16) 会場内のコンセントの使用を禁止する。
- (17) ゴミは全て持ち帰ること。
- (18) 割り当てられた以外の座席に着席しないこと。
- (19) 各県の選手控え場所以外の場所取りは禁止とする。
- (20) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (21) 一般観戦者は50mプール東側階段からの入場とする。入場開始時間は8:15とする。
- (22) 一般観戦者は外履きのまま入館することができる。プールアリーナ内、選手応援席に立ち入ることはできない。
- (23) 一般観戦者席は県ごとの選手参加人数の割合に準じて県ごとに区割りをを行い2日間固定とする。シート類、メガホン等での場所取りは禁止する。お互いに気持ちよく観戦できるように譲り合って利用すること。
- (24) クラブ旗・校旗の掲揚は紐を使用し、ガムテープ等は使用しないこと。
- (25) 敷地内はすべて禁煙とする。

6 注意事項・その他

- (1) 一時的に競技力の向上を図る目的で、薬物や嗜好品を使用することを禁止する。
- (2) ピアス、マニキュア、ペディキュア等をして出場することを禁止する。
- (3) 忘れ物は大会終了後、貴重品を除き、廃棄処分する。
- (4) 撮影許可証は発行しない。不審者等を発見したときは大会本部まで連絡すること。
- (5) 大会開催中の事故責任については、傷害・対物保険の範囲内とする。
- (6) 災害発生時は通告の指示に従うこと。
- (7) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
 - ・東北水泳連合競技結果速報サービス (<https://tohokuswim.net/sokuhou/>)
 - ・日本水泳連盟 LRS 「Live Result Swimming」 (<https://live-results.swim.or.jp/>)